

⑧高橋 輝氏（仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室企画推進担当課長）
～防災環境都市づくりにむけて～

仙台市では、東日本大震災の教訓を踏まえて「防災環境都市づくり」を進めています。これは、復興期間後を見据え、様々な行政の施策において、防災と環境への配慮を主流化することにより、より強靱な（レジリエントな）まちづくりを進めるもので、「仙台市政策重点化方針 2020」が定める3つの重点化方針の中で筆頭に位置付けられています。

具体的には、インフラの強靱化や省エネルギーの取組みにより防災・減災を進める「まちづくり」、自助、共助、公助で取り組むコミュニティ防災を推進する「ひとづくり」、東日本大震災の経験や教訓を国内外に伝える「情報発信」を主軸に、市民、研究機関等様々なマルチステークホルダーが連携・協力して取り組んでいくというものです。

特に、2015年3月に仙台にて行われた第3回国連防災世界会議は、185カ国から約6,500人が参加し、一般公開行事には市民を含め約15万人が参加しました。成果文書として国際防災枠組みである「仙台防災枠組」を採択し、女性や若者のリーダーシップやステークホルダーの役割が強調されたところです。今後も継続的に仙台市の震災経験を伝承していくことが重要だと考えています。

